

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【公開番号】特開2003-228552(P2003-228552A)

【公開日】平成15年8月15日(2003.8.15)

【出願番号】特願2002-304068(P2002-304068)

【国際特許分類第7版】

G 06 F 15/00

【F I】

G 06 F 15/00 330 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月18日(2005.10.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】モバイル通信ネットワークにおいて動作可能なモバイル機器であって、

中央演算処理装置による検索および実行のためにマシン読み取り可能フォーマットでデータを格納するメモリモジュールと、

該メモリモジュールに格納される不正侵入検出アプリケーションを実行するように動作可能なオペレーティングシステムと、を備えるモバイル機器。

【請求項2】前記オペレーティングシステムは、プロトコルドライバと、媒体アクセス制御ドライバと、を備えるネットワークスタックをさらに備え、前記不正侵入検出アプリケーションは、前記プロトコルドライバと前記媒体アクセス制御ドライバとに結び付けられた中間ドライバを備える、請求項1記載のモバイル機器。

【請求項3】前記不正侵入検出アプリケーションは、結合プロセスエンジンと、入出力制御レイヤと、をさらに備え、前記入出力制御レイヤは、シグネチャファイルを受信し、該シグネチャファイルを前記結合プロセスエンジンに渡すように動作可能であり、前記結合プロセスエンジンは、前記シグネチャファイルを使用してデータパケットを解析するように動作可能である、請求項1または2記載のモバイル機器。

【請求項4】格納媒体をさらに備え、該格納媒体は、複数のシグネチャファイルのデータベースを維持するように動作可能である、請求項1ないし3のいずれか一項記載のモバイル機器。

【請求項5】前記不正侵入検出アプリケーションは、前記シグネチャファイルとデータパケットの間の対応を識別し、該対応が識別されると、前記データパケットが不正侵入に関連するものであるという判断が行われる、請求項3または4記載のモバイル機器。

【請求項6】前記シグネチャファイルは、前記データパケットが不正侵入に関連するものであると決定されると、前記プロセッサが実行すべきプロセスを定義する指示を含む、請求項3ないし5のいずれか一項記載のモバイル機器。

【請求項7】前記不正侵入検出アプリケーションは、前記モバイル機器の不正侵入に関連するイベントを識別するように動作可能であり、前記モバイル機器は、不正侵入に関連するイベントデータを前記ネットワークの管理ノードに提供するように動作可能である、請求項1ないし6のいずれか一項記載のモバイル機器。

【請求項8】前記管理ノードは、モバイル通信ネットワーク交換システムである、請求項7記載のモバイル機器。

【請求項 9】 不正侵入検出システムを管理するネットワークのノードであって、中央演算処理装置による検索および実行のためにマシン読み取り可能フォーマットでデータを格納するメモリモジュールと、

プロトコルドライバおよび媒体アクセス制御ドライバを備えるネットワークスタックを備え、不正侵入保護システム管理アプリケーションを実行するように動作可能なオペレーティングシステムと、を備え、前記管理アプリケーションは、ネットワーク攻略ルールを定義するテキストファイル入力を受信し、前記テキストファイル入力を、攻略シグネチャを表すマシン読み取り可能ロジックを含むシグネチャファイルに変換するように動作可能であり、前記ノードは、無線周波数リンクを介して前記シグネチャファイルをモバイル機器に伝送するように動作可能である、ノード。

【請求項 10】 前記無線周波数リンクは、モバイル機器およびモバイル通信ネットワークの送受信基地局で終端する、請求項 9 記載のノード。